



プレゼント

全作品と講評
www.columnland.net

「クリスマスつつつても相手いねーし」「どーせ仕事あるから」

なんて今年のクリスマスをあきらめていませんか？

そんなあなたに素敵な

クリスマスプレゼント企画を

紹介しちゃいます♡

今年のプレゼントはななななんと

この「あ・た・し」でーす！☆♪きゃー！

19歳^①本物の女の子あたしをあなたの自由^②にできちゃいます！

どう？すごいでしょ！？

この機会、ぜひお見逃しなく！！

しかもいまならお試し期間付き！

クリスマスまでならいつでも返品おつけい♪

思う存分お試しください！

さ・ら・に！番組終了後30分以内にお電話くださった方には特別に

コスプレ衣装をお付けします！

商品の数に限りがございますのでお早めにお電話ください！

電話番号はお間違えなく♪

彼氏募集の最終手段
080-1107-XXXX

宇宙からの贈り物

はるばると暗闇の宇宙空間を突き進み

やつとの事で難題を乗り越え

無事に地球に帰還して小惑星の砂の

サンプルという素晴らしい贈り物を地球に届けた

そして、はやぶさの奇跡的な帰還のニュースを
世界中の人が知って、地球は感動に包まれた。
はやぶさはサンプル以外に目に見えない素晴らしい
贈り物も人間にもたらした。

誕生のプレゼント

人生で一番のプレゼントってなんだと思う？

子供のときに買ってもらった「大事なおもちゃ」？

一世一代のプロポーズで渡された「結婚指輪」？

お金持ちだった親が亡くなったときの「遺産」？

それとも一生付き合っていくような「友達」？

あるいは一生変わることのない「自分の名前」？

どれも違う。

じゃあなんだと思う？

そう、「自分が生まれたこと」、「自分の命」なんだ。

僕たちはとつてもとつても低い確率で生まれてくる。

不自由のない健全な体で生まれてくる確率ならもつと低い。

僕たちは普段はそのことに疑問を持たないし感謝もしない。

もちろん一つのことについても感謝するのは難しい。

それでも一年に一回ぐらいは感謝するべきだ。

だから僕たちは誕生日を祝うんだ。

人生で一番のプレゼントに感謝する特別な日としてね。

これから、どんなに齢をとつていこうとも、

僕たちは誕生日を祝い続けよう。

女「いいこと言つたつもりだろうけど、

だからって私への誕生日プレゼントを

忘れていいわけじゃないよね？」

男「ごめんなさいごめんなさい、

来年こそは忘れません……」

女「それ去年も聞いたんだけど。」

男「ぐっ……」

夕暮れ、ある家のダイニングで
誕生日を祝ってもらう少女
胸に抱いているのはぬいぐるみ
弾ける笑い声

そことは違うどこか

夜明け、ある国の小さな町で
誕生日も知らずに戦う少年
胸を貫くのは弾丸
響き渡る悲鳴

お父さんのサンタクロース

ぼくのお母さんが病気で死んでからもうすべ一年が過ぎようとしている。ぼくが小学五年生だった十二月三十一日、ぼくの世界は目まぐるしく変化した。仕事一筋だったお父さんが急に家で夕食を作るようになり、唐突に増えたぼくとお父さんとの二人きりの時間は、なんだかぎこちなく味気なかった。ぼくはお父さんが嫌いなわけではない。……いや、正確に言えば嫌いだ。足がくすぐてだらしない、いつもしょうもないダジャレばかり言ってくる。お父さんが作るばさばさなオムレツはお母さんのふわふわで大好きなオムレツとは程遠い。そんなお父さんをぼくは好きではなかった。

クリスマス一週間前、お父さんがいそいそとサンタさんからのプレゼントを聞いてきた。「ユウタは今年のプレゼント、何をお願いしたんだい？ お父さんも知りたいなあ。お父さんも一緒にプレゼントお願いしちゃおっかなあ。な、いいかな。あはは。」お父さんはいつもと変わらない調子でおどけて見せた。ぼくはそれに少しイライラした。そして、ぼくは答えた。

「いらないよ。」「え？」「だから、もういらなくて。今まではお母さんが喜びと思って知らないふりしてたけどさ、さすがにもう気づいてるよ。サンタクロースがいなくていいさ。」お父さんはしばらく黙ってから笑って言った。「そっか、サンタクロースはいないのか。……よし、じゃあ今年はお父さんがユウタに本当のサンタクロースをプレゼントしてやるぞ。今年は楽し

みにしとけな。」それを聞いた瞬間お父さんが赤と白の衣装に身を包みにこやかにやってくる今年のクリスマスが思い浮かんだ。ークリスマス当日ー 案外お父さんはひょうひょうとしていた。なんだ、サンタの約束はもう忘れてるのか。まあお父さんはいつもいいかげんだからな。そう思いながら、親友タツヤの家に遊びに行く支度をしていた。今日はタツヤの家で夕食もおつかない。あつても、邪魔しちゃう悪いか。せっかくのクリスマス、タツヤは家族だけで過ごしたいだろうな。靴を履き終えて家と出ようとした時、お父さんの声がした。

「おい、ユウタ、お前牛肉と豚肉と鶏肉、どれが好きだ？」クリスマスだからかなんとなく思い浮かんだ鶏肉を選んだ。「あつそうだ、今日の夕飯はサンタさんがくるからな、遅れるんじゃないぞ。」お父さんがにこにこしながら言っていた。えつ……まさか……本当に？ と一瞬バカな想像をした。

ーそして夕方ー 帰ってきたテーブルの上にはオムレツとポテトサラダとチキンロースの南蛮焼き。その横で、いつもと変わらない格好のお父さんがにこにこ座っていた。「おかえり。」「ただいま。サンタさんは？」「えっほら、そこにいないじゃないか。」「は？どこに？」「ほら、だから目の前に、」「……」「いいか、よく聞け。……サンタクロース。サンタクロース。サンタクロース。さんたくー ロース。三択ロース。な？」

クリスマス、いつもと変わらないお父さんにあきれつつ、なぜかぼくはほっとした。そして何も言わずにオムレツを食べた。オムレツはやっぱ今日もばさばさだった。

誤変換メッセージ　く逆鱗に触れたハムく

受信

「今年のお歳暮、どうしようかな？」

（もうそんな季節か。早いものね。うくん……とりあえず、部長には今年も随分とお世話になったようだし、部長は確定ね。無難にハムがいいかしら？）

送信

「そうね……とりあえず部長にハムでいいんじゃないかしら？」

受信

「そうね……とりあえず部長には無でいいんじゃないかしら？」

（おいおいおいおい、ちょっと待てえ！何とんでもないこと言いだしてんだ！？部長に何も無しとか、そんなことできるわけねえだろ！）

送信

「ちよ、そんな、部長に齒向かうような真似したら殺されちまうよ！！」

受信

「ちよ、そんな、部長にハム買うような真似したら殺されちまうよ！！」

（ええ！なんで！？ハムってなんか部長の逆鱗に触れるようなものの……？）

冷たい空風が体にあたって一つ身震いをした僕は、顔をマフラーで覆って、身を固くしながら歩く。もうすっかり冬だ。12月の初め。一段と誇らしげに輝く駅のイルミネーションが、僕を突き刺さした。

二年間一緒にいた彼女と別れたのは二カ月前の事だ。友達だった期間も含めると僕の人生の半分は一緒にいたことになる。でももう随分と前の事だ。別に悲しくなんかない。

もう潮時だった。どちらのせいでもない。ただ飽きただけ。お互いが互いの存在に慣れすぎたんだ。

「何事も適度がいんだよ。」

僕は思いついたことを、ぼそっと口に出してみた。気を許せば弱音を吐きそうになる自分に嫌気がさして、僕はメールも着信もない携帯を取り出した。

別れを告げるあいつの横、僕は何か違う誰かの顔を見ているかのような気分だった。隣にいるひねくれ者の悪行を泣きながら語り出す彼女に、僕は何もしない。

そんな小さな事、僕らの関係に入りこむ余地なんてないと思っていたんだ。そんな小さな事、僕らが今まで重ねた月日が一掃してくれるものだと思っていたんだよ。

そういえば僕が顔をうずめるこのマフラーは去年あいつから誕生日プレゼントとして貰ったものだ。それにここは昔あいつといった古本屋で、あつちに行けば毎週行っていたカラオケボックスがある。そしてこの道をまっすぐ行けば僕らが初めてキスをした公園で。

ああ、住みにくい町になったなあ。

気が付けば、駅前をいきかう人たちを僕はぼんやりと見つめていた。暖かい色の街灯に照らされて、楽しそうに男女二人が手をつないで僕の前を通り過ぎる。そう、きっとあの人達も、二人しか知らない問題と、二人も知らない問題を抱えながら生きてるんだ。

僕はそっと歩き出した。

この町のどっかで、君は息をしている。
それが嬉しいのか悲しいのか、涙が出そうになるけど、ねえ、
もう少しだけ、僕はここにいますよ。

クリスマス会でのプレゼント交換方法について・案

・その一、椅子取りゲーム方式

やり方：参加者はプレゼントを円形に並べた椅子の上に置く。この時、一番小さいプレゼントだけはそこには置かず、分けておく。あとは椅子取りゲームの要領で、椅子に座る代わりに目当てのプレゼントに飛びつく。取れなかった人は分けた小さい箱をもらう。

いい点：うまくやれば欲しいのが手に入る

小さいの狙いであえてプレゼントをとらないなどの駆け引き

悪い点：たぶんプレゼントがつぶされる

二人以上が小さいの狙いだと言倒くさいことに

・その二、マインスイーパー（中級）方式

やり方：16×16個のプレゼント箱を用意し、その中にひとつずつ参加者全員のプレゼントを隠す。他の箱のうち20〜30個をびっくり箱にして、残りの箱には、その箱の周りの「プレゼントの数」と「びっくり箱の数」が書いてある紙を入れておく。参加者は順番に、びっくり箱を開けるまで箱を開け、出たプレゼントはもらえる。

いい点：うまくやればいくつもプレゼントがもらえる

悪い点：頭脳戦なうえ一人ずつだから地味、盛り上がらない

プレゼントをもらえない人が出る

とにかく準備が面倒くさい

・その三、やみなべ方式

やり方：参加者が持ち寄ったプレゼントを大きな鍋に入れ、調味料で味付けしてよく煮込む。暗くした部屋で全員が鍋を囲み、順番に箸を鍋に入れ、最初に触れたものをもらえる。

いい点：盛り上がる（重要）

一緒に夕食が食べられて一石二鳥

悪い点：プレゼントが食べ物に限られる（「あえて食べ物じゃないものを入れる」というのも面白い）という反論意見アリ

クリスマスっぽいものは煮込むとマズい（ケーキ、マフラーなど）
もう意味が分からない（同調者多数）

投票結果

椅子取り	3	マインスイーパー（中級）	2
やみなべ	6	普通に交換	22

クリスマスの思い出

あれは小学2年生のときのことでした。

その日はクリスマス・イヴ。サンタさんからのプレゼントを楽しみに眠りに落ちた僕は深夜に目が覚めてトイレに行ったんです。

そこで僕はサンタさんに会いました。

サンタさんは真っ赤な服を着ていました。

あまりよく覚えていないのですが、他の色の服に上から赤いペンキをかけたような、そんな感じだったような気がします。

僕「誰……？」

サンタ「うーもーびっくりしたじゃないか。私はサンタさんだよ。」

僕「わー！サンタさんだよ！」

サンタ「しー。静かに。家族を起しちゃダメだよ。」

僕「はい。プレゼント持ってきてくれたの？」

サンタ「そうだよ。君は確か野球に使うバットを欲しがってたよね。はい、これで野球の練習頑張るんだよ。」

僕「わー！サンタさんありがとう！」

サンタ「私は他の子どもたちにとっても行かないといけないから、

君はもう寝るんだよ。」

僕「はい、おやすみなさい。」

翌朝、近所のとある一家が惨殺されて見つかりました。

死因は頭部への殴打とのこと。

その一家の主人は確かお父さんの会社の上司の方で、お父さんは一家の死を大変悼んでいた気がします。

今はサンタさんの正体が親だと知ってしまったけど、あの日に会ったサンタさんもお父さんだったのでしょうか。

もらったときから赤黒いシミのついていたあのときのバットは、今でも部屋に置かれています。

「おはよう。」と私が言う

「おはよう。」と彼も返してくれる。

「今日もいい天気だね」と言う

「うん、そうだね」と笑ってくれる。

彼が返事をしてくれたり、笑ってくれたり。

たったそれだけのことが本当にうれしくて。

彼にとっては些細なことが、私にとって一番のしあわせ。

そうそう、明日は彼の誕生日。

いつも貰ってばかりだから。

喜んでもらえるプレゼント、あげたいな。

「ねえねえ、今なにか欲しいものつてない？」

「え？…うーん、そうだね。」

「……とりあえず、今は外の天気を見に行きたいなあ」

鎖がカチャン、と音を立てた。

命あるもの全てを支え続け

その風景は汚れた心を洗う

木々からの贈りものを僕ら

毎日奪っては捨ててばかり

コンテスト結果

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
01	彼氏募集の最終手段	2 pt	9 位	3 sp
		きれいな作品が多すぎて選べなかった（TAさん談）今週、こんな異色の表紙で始めてみました。 女子高生っぽいノリがフォントとフレーズで、きゃっきゃと伝わってきます。たしかに自爆的最終手段ですね、これは。 話題集中。最多特別賞とイチオシフレーズ大賞をかつさいました。おめでとう!! 特別賞：イタイで賞 from W班（そのままです）性別不賞 from Y班（ニューハーフですか？W）作者男で賞 from Z班（文字通り） イチオシフレーズ：「あ・た・し」「080-1107イイオンナ☆」×2		
02	宇宙からの贈り物	5 pt	4 位	1 sp
		ヨコヨミ正統派入ります。はやぶさ君、懐かしい話題ですね。 ヨコヨミで終わらせず、砂サンプル以外の贈り物にも目を配ったスタンスが好感大でした。 特別賞：ロード賞 from S班（まあ映画化もなったわけだし）		
03	誕生のプレゼント	10 pt	2 位	0 sp
		張り切っていいことと言って。でもそのあと、ちょっと照れて。 そんな本文とおまけの落差が、ほほえましい仕上がりです。言ってみたいなあこんなセリフ。 そんなフロアの共感を誘ってのシルバー・メダル、おめでとう!! イチオシフレーズ：「ごめんなさいごめんなさい」「ぐっ……」 【ねんのため】 第三段落3行目が、ちょっと気になりました。読みようによっては健常者で良かった！と言ってることになるので、そうでない立場のかたが読まれた場合でも不快感がないように留意したいところです。むしろこの一行、無くて良いかなと思います。 作者さんに全くそんな意図がなくても、立場によって深く刺さってしまうフレーズもあるので、そういうことにもずっと気づけるようになっていただければうれしいです。王国民全員が。		
04	父と子と	14 pt	1 位	1 sp
		レイアウト派、ひっさびさの登場です。 銃弾の応酬、憎しみには憎しみを。そうやって因果はめぐってゆく、エンドレスに。 ストーリーとレイアウトの相乗効果、さすが本家本元さんですね。おめでとう久しぶりの（ですよ？）首位!! 特別賞：レイアウト賞 from T班（先週と同じ）		

05	そことは違うどこか	9 pt	3 位	0 sp
		天と地。さっくりとシンメトリカルな風景。タイトルも決まりましたね。おめでとうブロンズ・メダル！ みごと「文少力」をものにした我らが五千字さんの今後のターゲットは？		
06	お父さんのサンタクロース	4 pt	6 位	0 sp
		ホームドラマのあたたかさ。「三択ロース」——ダジャレサンタのお父さんが、とてもていねいに、いとおむように描かれていて、読み手もほっこりできます。 オムレツ、だんだんおいしくなるといいね☆		
07	誤変換メッセージ～逆鱗に触れたハム～	5 pt	4 位	0 sp
		わはは。行きの誤変換だけでも楽しいのに、帰りもきれいに誤変換。ハムってば、侮れませんね。おもしろさが爽快にはじけました。 なおTAのねすこのさんが、「公」と読んで首をかしげてたのは、ココダケノハナシ。 イチオシフレーズ：「逆鱗に触れたハム」「部長にハム買う」		
08	無題（彼女と別れた）	4 pt	6 位	0 sp
		終わった恋をゆっくりといとおむような。センチメンタルな浮遊感がここちよい。「もう少しだけ、ここにいるよ」。歌詞になりそう。 ただ、このボリュームだったら、タイトルは必須です。ぜひいい「名前」を付けて、送り出してあげてください。		
09	クリスマス会でのプレゼント交換方法について・案	4 pt	6 位	0 sp
		マインスイーパがウケました。 目の付けどころのユニークさとともに、それぞれの手法のメリット・デメリットが明確にしたことで、全体がバラバラにならず統一感が出たのも良い工夫でしたね。長文書きさん、別の境地の開拓です。 イチオシフレーズ：「普通に交換22」		
10	クリスマスの思い出	2 pt	9 位	1 sp
		悪いサンタさん入ります。うまく伏線張って回収して、コンパクトなのにちゃんとミステリーとして仕上がってます。グッジョブ。 そうそう第1段落の「赤いペンキ」でオチが予想できた人はTA一同と同じく心が黒い人、そうでない人は心が白い人です、たぶん。汚されないように。 特別賞：脳挫賞 from R班（おそらく死因はこれ） イチオシフレーズ：「私はサンタさんだよ」		
11	無題（カチャン）	1 pt	11 位	2 sp
		カチャンはてさて何の音？ TA赤帽子さんは、玄関のドアロックをはずした音だよ、ときれいに読みました。 なわけあるか！と思ったあなたは、きっとその方面に毒されています。 とりあえず、人間を飼うのはやめましょう。 特別賞：こだまで賞 from V班（ACにあったっぽい） 鎖を外してもらいま賞 from X班（軟禁怖いです）		

		イチオシフリーズ：「鎖がカチャン、と音を立てた。」
12	無題（命あるもの）	0 pt 12 位 2 sp とてもきれいな裏表紙。 でも意味がくっきりとは分らない。 酸素かなあ。捨てるって？ と思っていたら木そのもの ですか、なるほど。 特別賞：確信犯賞 from Q班（コメントが削除されました） わりばしで賞 from U班（木々からの贈りものを奪って捨てる→わりばし？）



全作品と講評

www.columnland.net